

社協だより

平成30年2月1日

第176号

編集

社会福祉法人

江南市社会福祉協議会

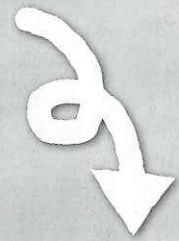
江南市古知野町宮裏121番地

(老人福祉センター内)

TEL・FAX (0587) 55-5262

介助犬にまつわるこの数字、

何を示して いるんだろう？



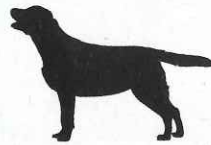
2

68

15,000

What is SERVICE DOG?

正解は3ページをみてね!!



おもな内容

- 介助犬紹介レポート 2、3ページ
- リレーインタビュー「ボランティア×ボランティア」... 4ページ
- ボランティア活動紹介 ～運転ボランティア編～ ... 5ページ
- 民生委員・児童委員の活動に迫る 6ページ
- 社協掲示板 7ページ
- ボランティア掲示板、福祉クイズ、寄付お礼 ... 8ページ

今号の社協だよりでは、介助犬のお仕事や市内小学校での活動レポートを特集で紹介します。

介助犬とは肢体不自由者（手や足に障がいのある方）の日常生活動作を助け、障がい者の自立と社会参加のために訓練された犬のことです。身体障害者補助犬法のもと厚生労働大臣指定法人から認定を受けています。

本会では、今年度も日本介助犬協会のご協力により、市内全小学校において「介助犬教室」を開催しました。

介助犬 紹介レポート

【小学校での介助犬教室の取り組み】

介助犬のお仕事に驚く子どもたち



▲靴を脱がすお手伝いをする場面

今年度も市内全小学校に対して「介助犬教室」を開催しました。
長久手市の社会福祉法人日本介助犬協会 介助犬総合訓練センター（シンシアの丘）から講師及び介助犬PR犬をお招きし、介助犬による実演を見たり、実際に子ども達が介助犬にお仕事の指示を出したりする体験を行いました。

具体的な授業内容は、身体障害者補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）の説明をされ、介助犬のお仕事紹介として、お金を拾う、靴を脱がす、携帯電話を探してもってくるなどのデモンストラーションがありました。

お悩み もっと介助犬が増えればいいのに...

介助犬の育成には一頭当たり250~300万円かかるとされており、そのほとんどは、寄付や募金ですが、十分とはいえません。出来る限り必要としている方の元に介助犬が寄り添うことができるよう、より多くの方に介助犬の必要性や活動に対する理解をしていただくことが、目標に近づく第一歩となります。

私たちができる支援を考えてみませんか。



優しい無視のお願い



介助犬をはじめ盲導犬や聴導犬は、ケープ（仕事服）・ハーネス（胴輪）を身につけている間は工作中です。使用者の安全のためにも、犬の気が散らないよう静かに見守る（優しい無視）ことで使用者も安心して外出することが出来ます。

介助犬を理解すること



2002年に身体障害者補助犬法が制定され、補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）を伴って、公共交通機関や商業施設、飲食店、ホテル、病院などを利用できるようになりました。しかし、いまだに補助犬を伴った入店や病院への通院を断られるといったケースが後を絶ちません。介助犬も使用者も安心した生活を送るためには、介助犬のことを理解して下さる方が増えることが解決の第一歩になります。

介助犬のお仕事

介助犬は手足が不自由な方の生活を手助けするために特別なトレーニングを積んだ犬です。介助犬使用者に付き添い、物を取ってくる、ドアを開けるなど、障がいの度合いや環境に応じた様々な仕事をします。

また、介助犬使用者が転倒して起き上がれない時に携帯電話を取ってくる、人を呼びに行くなど、緊急時の連絡を手助けするのも介助犬の大きな役割です。



▲上手に口で飲み物を加えて



▲冷蔵庫から水を運ぶお仕事



▲利用者に優しく届ける

※「介助犬教室」の様子

他にもこんなことも・・・!



▲他にもドアの開け閉めなども

コラム

手足の不自由な方の自立と社会参加のきっかけに

介助犬というと身体的介助のみをお手伝いすると思われがちですが、介助犬使用者の精神的な支えにもなります。介助犬と暮らすことによって、「一人で外出する際の不安がなくなった」「新しいことを挑戦してみたくなった」などの効果もあり、介助犬を通して社会とのつながりができています。

寄付、チャリティーグッズ購入による支援

募金箱設置や街頭募金の実施、チャリティーグッズを購入することで、介助犬の育成支援につながります。詳しくは、日本介助犬協会のホームページをご確認ください。



▲チャリティーグッズ(キーホルダー)



▲チャリティーグッズ(トートバッグ)



お問い合わせ 【社会福祉法人 日本介助犬協会】

- 介助犬総合訓練センター～シンシアの丘～
- 住所：〒480-1311 長久手市福井 1590-51
- 電話：0561-64-1277
- ホームページ：http://s-dog.or.jp/

介助犬



▲LINEスタンプ販売中



▲募金による育成支援

68

活躍している介助犬の頭数

15,000

介助犬を必要としている方の人数



手話サークルあけぼの会 × 運転ボランティア

(安藤さん、工藤さん/聞こえない方)
(柳田さん、清水さん、恒川さん)

(津田さん、増田さん)

ボランティア団体同士が聞き手、語り手となりインタビューをして本音を語ってもらい、ボランティアを身近に感じていただくための企画です。さて、今回はどんなお話が聞けるのでしょうか。

今回の語り手…運転ボランティア

単独移動で移動困難な方への外出支援として移送サービスを行っています。利用される方から、「移送サービスを利用することで行動範囲が広がってうれしい」との声を聞くと、うれしく感じます。

活動日 都合のつく時間 例会場所 老人福祉センター

Vol.14



Q 活動内容を教えてください。

津田さん 運転ボランティアは、お一人で移動が難しい方を自宅から目的地まで車でお連れする移送サービスの活動をしています。現時点のボランティア登録者は7人です。対象となる方は、高齢者や障がいをお持ちの方が殆どで、通院や買物などが主な目的です。自宅までお迎えに行き、目的地にお送りし、用事が終わるとまた迎えに行き、自宅までお送りすることが一連の流れです。ボランティア一人につき、大体月に2回程度活動しています。

Q 活動する上で配慮していることはありますか？

増田さん 運転は慎重になりますし、運行速度も抑えるようにしています。利用中は利用者にとって、少しでも心地いい時間にしたいと思っていますので、その場の雰囲気や相手の気持ちをできるだけ察するように心がけています。

津田さん 大きな声では言えませんが、桜や藤が咲く時期はせっかくの機会なので、目的地まで最短ルートではなかったとしても、車窓から花を見ることが出来る道を選ぶようにしています。なかなか自力で移動することが難しい方も多いため、とても喜んでいただけてるんですよ。もちろん無条件に行っている訳ではないんですけどね。



利用者にとっても少しでも心地いい時間にしたい

実は運転はあまり好きじゃないんです

津田さん どちらかという私は運転が好き、得意というわけではないんです。運転ボランティアは、自分の空いている時間の中で活動ができるので、あまり負担に感じることなく、続けられています。また運転ボランティアのように、高齢者の外出する機会を支援できることは自分に合っていると感じています。

増田さん 私も運転が「好き」か「普通」か「嫌い」のどれかと聞かれたら、「普通」を選びます(笑)。運転することや人と接することが楽しめる方なら参加しやすい活動だと思います。

Q 活動する上で大切にしていることはなんですか？

津田さん 利用者に関わるのは短い時間ではありますが、せめてその時間だけでも心が和む時間にしたいと思っています。例えば、季節の話から「寒いですね。」「暑くなりましたね。」などと話しかけたり、私は趣味で家庭菜園をしているので、共通点がある方にはその話をするなど、利用者の反応から話の展開を考えるようにしています。

増田さん 利用者の多くは歩行困難などの理由から外に出る機会が少ないので、私たちと会話することを楽しみにしている方もいますが、あまりプライバシーには触れないようにしています。また、目的地が病院の場合は、受診の待ち時間なども長く、利用者にとってストレスがかかることもあると思うので、せめて往復の時間だけでも「心地いい時間に」と意識して活動しています。



活動の中でのもどかしさ ～運転ボランティアができること～

津田さん 運転ボランティアの活動範囲に迷うことがあります。車の乗り降りの介助は範囲内ですが、例えば乗車するまでに階段がある場合に歩行介助をすることや、車から降りる際の車いすへの移乗は原則できないことになっています。本当はお助けしたいのですが、私が介助することで、万が一のことがあるといけないので、歯がゆい気持ちで見守ることがあります。そのような介助が必要な方の場合は、必ずヘルパーの方と同乗してもらうことで安心して外出して頂くようにしています。



～手話サークルあけぼの会から一言～

運転中の利用者への気配りもさることながら、運転ボランティアさんのコミュニケーション能力の素晴らしさに感動しました。どんなボランティアであっても、一人ひとりが判断しなければいけない場面に直面することがあり、難しいことですが、そこにボランティアとしての面白さがあると思いました。

～おわり～